

目次

●【事業者の事故】

火災等による物損害①～⑤

事故のケース:店舗併用住宅の火災
その他の類似事例(8例)

●【家庭の事故】

火災等による物損害⑥～⑧

事故のケース:家財の全焼と水濡れ損
その他の類似事例(5例)

●台風等による物損害①～③

事故のケース:高波による建物の損壊
その他の類似事例(9例)

●水濡れ損害①～④

事故のケース:漏水により建物・仕器が汚損

●地震損害①～⑦

事故のケース:鉄骨造併用住宅が全損
その他の類似事例(7例)

●休業損害①～③

事故のケース:機械の損傷により製造停止
その他の類似事例(6例)

●車両損害①～③

事故のケース:他車との衝突

●工事物件事故①～⑥

事故のケース:被覆シートめくれ建物等が水濡れ損
その他の類似事例(17例)

●傷害事故①～④

事故のケース:屋根から転落し腰椎骨折
その他の類似事例(8例)

●交通傷害事故①～②

事故のケース:ガードレールに激突死
その他の類似事例(5例)

●女性の事故①～②

事故のケース:自転車と女性に衝突
その他の類似事例(6例)

●子供の事故①～②

事故のケース:女兒が浴室で転倒
その他の類似事例(7例)

●国内旅行傷害事故①～②

事故のケース:入浴中転倒して死亡
その他の類似事例(4例)

●海外旅行傷害事故①～②

事故のケース:滞在中のホテルで大やけど
その他の類似事例(10例)

●携行品損害①～③

事故のケース:カート内のバッグ盗難
その他の類似事例(3例)

●所得補償①～②

事故のケース:糸球体腎炎で休業
その他の類似事例(7例)

●盗難事故等①～④

事故のケース:パワーショベルの盗難
その他の類似事例(13例)

●食中毒事故①～②

事故のケース:イベント会場の弁当で食中毒
その他の類似事例(8例)

●施設賠償事故①～④

事故のケース:ダイビングスクールで溺死
その他の類似事例(9例)

●個人賠償事故①～②

事故のケース:衝突した歩行者が骨折
その他の類似事例(6例)

●ゴルフ事故①～④

事故のケース:ゴルフ場での身体賠償事故
その他の類似事例(6例)

●レジャー事故①～②

事故のケース:スキーの接触事故
その他の類似事例(7例)

●人身傷害事故①～⑦

事故のケース:単独事故で運転者が負傷

■資料編

- 火災保険の契約件数、支払件数、支払保険金
- 店舗・事務所などの平均支払保険金は84.9万円
- 〔消防法の改正〕住宅火災の死亡事故は7割が逃げ遅れ
- 失火と法律上の賠償責任
- 平成16年度の保険金支払見込額は約7,274億円に
- 火災保険加入者の37.4%が地震保険に加入
- 地震保険の加入率は年々上昇し18.5%に
- 地震保険は昭和39年の新潟地震を契機に創設された
- 車両保険の支払保険金にみるデータ
- 子供の事故
- 子供の起こした賠償事故
- 食中毒の9割以上は微生物によるもの
- 施設所有(管理者)賠償責任保険の特徴
- 判例に見る施設賠償事故
- 個人賠償事故(突然加害者となる場合もあらず)
- 動物の飼い主が負う賠償責任
- ゴルフ中の賠償事故は複雑で裁判になることも
- ゴルフプレー中の事故に関する代表的な判例
- 人災だけでなく落雷事故にも注意を(ゴルフ事故に関連して)
- スポーツ中の賠償責任

火災等による物損害①【事業者の事故】

（事故のケース） 店舗併用住宅の火災

【契約種類】 店舗総合保険
【被災者の業種】 サーフショップ

事故態様	事故概要	保険金支払額
建物等の火災	2階の住宅部分から出火し、1階の店舗部分は煤煙、放水等で半損、商品はほぼ全損となった。	(総支払額) 27,800,000円
		(支払保険金：内訳)
		建物の損害保険金 1,200万円
		什器備品の損害保険金 100万円
		商品の損害保険金 300万円
		家財の損害保険金 500万円
		臨時費用保険金 500万円
		残存物取片付け費用保険金 80万円
		店舗休業保険金 100万円

【事故状況】

1階で営業開始直後、2階の居住部分から出火。飼い犬が飛び降りてきたので気づき直ちに消防署に通報したが、火の勢いが強く2階部分は全焼、1階の店舗部分は煙や煤(すす)、消防放水で什器備品は半損、商品は全損となった。復旧に要する3か月間は休業を余儀なくされた。出火原因はタバコの火の不始末とみられる。

表1. 火災保険の契約件数、支払件数、支払保険金 (平成15年4月1日~16年3月31日)

種別(物件)	契約件数(万件)	支払件数(件)	支払保険金(億円)
住宅(建物・家財) (住宅火災保険) (住宅総合保険)	629.7	64,113	450.7
店舗・事務所など (普通火災保険) (店舗総合保険)	366.6	104,791	890.4
工場(普通火災保険)	21.4	7,312	474.0
倉庫(普通火災保険)	2.4	50	11.5
住宅ローン関連 (特約火災保険)	37.1	27,790	211.3
合計	1,057.1	204,056	2,037.9

損害保険料率算出機構 平成15年度「火災保険統計」より

(注)
①左表は平成15年(2003年)4月1日から同16年(2004年)3月31日に至る期間に、損保会社33社が損害保険料率算出機構に報告を行った火災保険契約を同機構が集計したものである。
②ここでいう火災保険契約とは、「普通火災保険」「住宅火災保険」「住宅総合保険」「店舗総合保険」「特約火災保険」を含み、「地震保険」は含まない。
③各火災保険に付帯する賠償責任、拡張担保等の各種特約は含んでいない。
④「契約」は当該年度中の契約であり、解約返戻等は控除していない。「支払」は当該年度中に支払われたものを集計したものである。

内容見本

事例の内容
建物3階に店舗を構えている食堂の厨房調理場付近から出火。同建物3階と収容している営業用什器備品等を焼失した。原因は夜間営業準備のために煮物をしており、鍋が過熱し壁に着火したものの。
テナントとして入居していた小料理店で閉店後、料理鍋のガスの種火を切り忘れ、煮物の水分が蒸発し火災が発生した。内容物が固形炭化して発火したものと推定される。この火災により、テナント内装や設備什器等を焼損した。
商店街にある喫茶店の厨房からてんぷら油の火の不始末で出火し、火元の喫茶店は全焼した。この事故では折からの強風にあおられ、商店街内の11棟が全半焼した。

事例4 火災 (居酒屋)	店舗総合保険 1,140万円	雑居ビル内の改装工事中の喫茶店から不審火で出火した。居酒屋は火元の喫茶店に隣接しており、出火当時、この雑居ビルは無人であったため発見が遅れ、居酒屋は全焼した。
事例5 火災 (住宅兼レストラン)	積立火災保険 (価額協定保険特約付帯・新価・実損払) 880万円	給湯管を接続していた配管の溶接火花が建物の下地に引火。建物、収容什器備品、家財が焼損した。
事例6 火災 (焼鳥店)	店舗総合保険 550万円	お客が捨てたタバコの火の不始末により閉店後出火し、店舗内が焼損、焼煙で全焼となった。

休業損害③

（事故のケース） 食中毒で営業停止

【契約種類】 生産物賠償責任保険（休業補償特約付帯）

業種	事故概要	保険金支払額
日本料理店	食中毒が発生し営業停止により休業損害	(支払額) 3,830,000円

【事故状況】

昼食で懐石料理を食べた54人のうち36人に食中毒が発生した。原因は刺身の腸炎ピリオであった。2人入院し、ほかは比較的軽症であった。保健所から4日間の営業停止と1日の自主休業があり、休業損害が発生した。



内容見本

敷

一、劇場・遊園地・学校・商店・飲食店・看板・広告施設の用法に伴う業務(生産・販売・運搬・仕入れ・これらの施設の所有者または管理者が負担する法

劇場の天井のシャンデリアが落ち入場者を傷つけた。ボイラーが爆発して隣家を損壊させた、広告塔が倒

約款が用意されている事業については、この保険ののとおりです。

補償しない賠償損害

業務も起因する	「漏水担保特約条項」を付帯することにより担保することができる。
原因する	このような危険は、管理者がその管理に通常の注意を払っていれば、起こらない性格のものであるため免責にしている。
賠償損害	この保険は、施設が本来の用法で使用されている間の事故を対象とするもので、施設そのものの改造、修理などの工事に伴う危険は「請負業者賠償責任保険」で担保する。
車両も賠償損害	このような危険には、航空保険、船舶保険、自動車保険が用意されている。
は被保	「生産物賠償責任保険」で担保することができる。
5	第三者の占有を離れ施設外にあるその他の財物に起因する賠償損害
6	仕事の完成(仕事の目的物の引渡しを要するときは引渡し)または放棄の後に仕事の結果に起因する賠償損害

判例に見る施設賠償事故

○濡れた床ですべて大ケガ、コンビニに賠償請求

この事故は大手コンビニの加盟店舗で買物中に、濡れた床で女性がすべり、大ケガ(通院期間約2年、実通院日数43日、手術3回)を負った事例です。女性はこのコンビニのフランチャイザーに対して安全義務違反、管理維持義務違反があるとして損害賠償を請求し、訴訟を起こしましたが、第一審裁判所は、当時店舗の床は多少濡れていたものの、女性の履いていた靴の底が擦れてすべりやすい状態にあり、また両手に荷物を持っていたためバランスを崩して転倒したもので、自招事故であるとして女性の請求を棄却しました。